

アプリケーションカタログ 塩化アルミニウム中のアルミニウム濃度測定

関連業界	:	-
使用装置	:	電位差自動滴定装置
測定手法	:	光度滴定法/ キレート滴定
関連規格	:	-

1. 概要

多検体チェンジャ用いてアルミニウムの濃度測定を行った。
RSD=0.4%と非常に良好な結果が得られ、問題なく測定できることが確認できた。

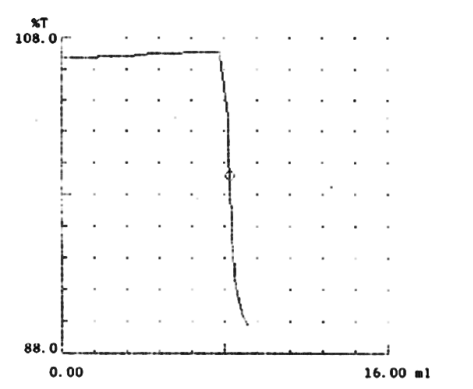
2. 装置構成

本体	:	電位差自動滴定装置（プリアンプリファイア：PTA）
検出器	:	光度センサ（ $\lambda=530\text{nm}$ ）
オプション	:	多検体チェンジャ

3. 試薬

滴定液	:	0.02mol/L-亜鉛溶液
添加試薬	:	酢酸ナトリウム緩衝液、0.02mol/L-EDTA、酢酸アンモニウム緩衝液
溶媒	:	純水
指示薬	:	キシレノールオレンジ

4. 測定例



—測定結果—

	Sample (g)	titer (mL)	Conc. (wt%)
1	9.5304	8.3096	0.1978
2	9.5304	8.0749	0.1991
3	9.5304	7.9637	0.1998
平均			0.1989
標準偏差			0.001
RSD (%)			0.51

詳細は、下記までお気軽にお問い合わせください。

<問い合わせ先> 京都電子工業株式会社

<http://www.kyoto-kem.com/ja/contact/form.php>